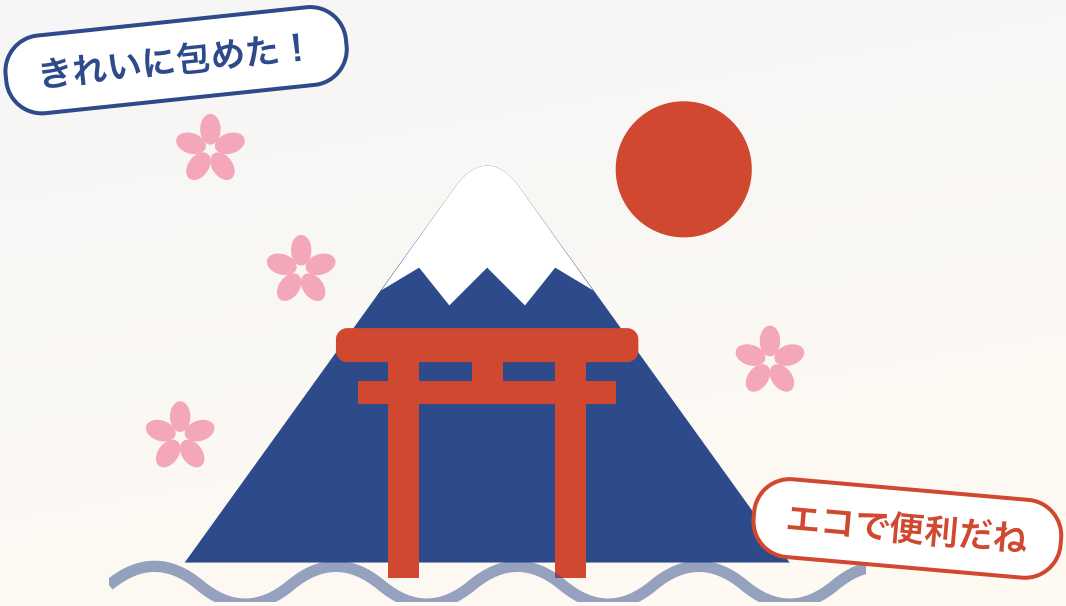
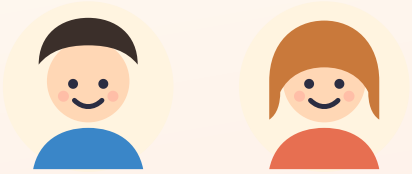
Season 7 | No.66



風呂敷と包む文化

一枚の布が、贈る心を包みます



全30ページ | 無料教材

一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の使い方

1 **見て・ふれて・感じる**
写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2 **「なぜ？」を考える**
行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3 **「やってみよう」で体験する**
答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken（ケン）
日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma（エマ）
カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

風呂敷の基本 …… 3〜6
包み方いろいろ …… 7〜11
包む文化の心 …… 12〜15
写真と体験 …… 16〜17
おさらい …… 18〜23
まとめ …… 24〜30

Lesson 1

風呂敷ってなに？

一枚の四角い布に、包む知恵がつまっています。

風呂敷とは、**四角い布でものを包み、持ち運ぶ道具**です。
箱や瓶、丸いものなど、形のちがう荷物を、結び方をかえるだけで包めます。使い終わったらたたんで小さく持ち歩けるのも魅力です。



風呂敷が包めるもの

お弁当　本　びん　すいか　贈り物　着替え

四角い布一枚で、いろいろな形のものに対応できます。

ポイント

- 結び方によって、いろいろな形のものを包めます。
- 使わないときは折りたたんで、かばんに入れておけます。
- 布を選ぶことで、贈る相手への気持ちも表せます。

やってみよう

1. 家にハンカチや大きめの布があれば、四角く広げてみよう。
2. その布で何を包めそうか、考えて書いてみよう。

ワンポイント　風呂敷は洗ってくり返し使えるので、ふだんの生活にも取り入れやすい道具です。

書いて覚えよう

Lesson 2

風呂敷の歴史

風呂敷には、長い歴史があります。

奈良時代

nara jidai

布で宝物を包んで保管

布に包む習慣

室町時代

muromachi jidai

風呂で衣類を包んだことが名の由来といわれる

「風呂敷」の名

江戸時代

edo jidai

商人や庶民の間に広まる

生活道具として定着

ポイント

- 「風呂敷」という名前は、風呂（むかしの蒸し風呂）で足元に敷いたり、衣類を包んだりしたことに由来する、といわれています。
- 江戸時代には、荷物を運ぶ道具として広く使われるようになりました。

やってみよう

1. 風呂敷という名前の由来を、自分の言葉で説明してみよう。

ワンポイント 諸説ありますが、「お風呂に敷く布」から名前がついたという説がよく知られています。

書いて覚えよう

Lesson 3-4

風呂敷の大きさと素材

大きさと素材で、包めるものが変わります。

大きさ	目安	よく包むもの
中幅	約45cm	お弁当、小物
1幅（尺三）	約50cm	本、ふだんの荷物
二幅	約70cm	衣類、大きめの箱
特大判	約90cm以上	布団、大きな荷物

木綿（もめん）

cotton

じょうぶで洗いやすい、ふだん使いの素材

ちりめん

crepe silk

しぼのある絹の布。贈り物用に選ばれることが多い

ポイント

- 包みたいものの大きさに合わせて、風呂敷の大きさを選びます。
- 木綿・絹・レーヨンなど、素材によって風合いや使い道がちがいます。

やってみよう

1. 家にある四角い布を1つ選び、大きさを測ってみよう。＿＿＿＿＿＿＿＿ cm

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 5

真結び

ほどけにくい結び方の基本を覚えよう。

真結びの手順

①布の対角にある2つの端を持つ　②右の端を左の上に重ねて結ぶ　③残った端を、今度は左を右の上に重ねて結ぶ

ポイント

- 真結びは、風呂敷の結び方の基本です。左右を入れかえて2回結ぶのがコツです。
- 同じ向きで2回結ぶとほどけやすいので、注意しましょう。

やってみよう

1. 大人といっしょに、実際の布やひもで真結びを練習してみよう。
2. うまく結べたら、そのままかばんの持ち手にも使ってみよう。

ワンポイント　真結びは、ほかの結び方の土台にもなる大切な結び方です。

書いて覚えよう

Lesson 6-7

お使い包みとびん包み

箱と瓶、それぞれに合った包み方があります。

お使い包み

箱を布の中心に置き、対角を結ぶ、もっとも基本の包み方

びん包み

びんを布で包み、口の下で結んで持ち手にする

共通のコツ

布の中心に荷物を置くと、きれいに仕上がる



Emma
お使い包みって、いちばんかんたんな包み方なんだね。



Ken
うん。箱を真ん中に置いて、対角の端を結ぶだけだよ。

ポイント

- お使い包みは、いちばん基本の包み方で、応用がききます。
- びん包みは、結んだ部分がそのまま持ち手になるので運びやすくなります。

やってみよう

1. 箱形のものを1つ選び、お使い包みで包んでみよう。

書いて覚えよう

Lesson
8-9

すいか包みとバッグにする包み方

丸いものも、バッグにも変身します。

すいか包み

丸いものを布で包み、上で結んでネットのように持つ

バッグ包み

布の両端を結んで持ち手を作り、かばんのように使う

気をつけたいこと

重いものは、結び目をしっかり確認してから持ち上げる

ポイント

- すいか包みは、丸いすいかやボールなどを安定して運べる包み方です。
- バッグにする包み方を覚えると、買い物のときにも活躍します。

やってみよう

1. ボールやみかんなど丸いものを、すいか包みで包んでみよう。
2. うまく包めたら、結び目を持って軽く持ち上げてみよう。

ワンポイント 重いものを包むときは、大人といっしょに結び目の強さを確かめましょう。

書いて覚えよう

Lesson 10

贈り物を包む

贈り物には、ていねいな包み方があります。

ポイント

- 贈り物を包むときは、汚れやしわのないきれいな布を選びます。
- 包んだあと、結び目が正面から見て整っているかを確かめます。
- 渡すときは、風呂敷から出してから渡すのがマナーとされています。



Ken
風呂敷のまま渡してもいいのかな？

Emma
中身を出して渡して、風呂敷はたたんで持ち帰るのがていねいなんだって。



やってみよう

1. 家にある小さな箱を、贈り物のつもりできれいに包んでみよう。

ワンポイント 包み方だけでなく、渡すときの一言も、贈り物の印象を大きく左右します。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 11

のしと水引

贈り物には、意味のこもった飾りがあります。

のし

noshi

祝いごとの贈り物につける、細長い飾り

水引（みずひき）

mizuhiki

紙のひもをかざり結びにしたもの。用途で結び方が変わる

ポイント

- のしは、もともと縁起物の干しあわびを簡略化したものといわれています。
- 結び切りは一度きりのお祝いに、ちょう結びは何度あってもよいお祝いに使われます。

やってみよう

1. 家にある祝いごとの品物やのし紙を、大人と一緒に探してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 12

ふくさ

大切なお金を包む、小さな布があります。

ふくさは、ご祝儀袋や香典袋を包む小さな布です。
袋にしわや汚れがつかないよう守るとともに、相手への心づかいを表すものとされています。



ポイント

- お祝いごとには明るい色、お悔やみごとには落ち着いた色のふくさを使うことが多いです。
- 渡すときはふくさから袋を取り出し、両手でていねいに差し出します。

やってみよう

1. 家族に、ふくさを見たことがあるか聞いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson 13-14

包む文化の心とエコな風呂敷

包むことには、心と環境への配慮があります。

包む文化にこめられた心

ていねいさ　相手を思う気持ち　くり返し使う工夫

形を選ばず包める風呂敷には、ものを大切にする心が表れています。

ポイント

- 風呂敷は洗ってくり返し使えるため、ごみを減らすことにつながります。
- レジ袋のかわりに買い物へ持っていく人も増えています。

やってみよう

1. 買い物に風呂敷やエコバッグを使うと、何がよいか考えて書こう。

ワンポイント 使い終わったら小さくたたんでポケットに入れておける身軽さも、風呂敷のよさです。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson
15-16

手ぬぐいと手ぬぐいの使い方

薄い一枚の布にも、たくさんの使い道があります。

手ぬぐい

tenugui

木綿でできた、薄くて端を縫わない長方形の布

かまわぬ

kamawanu

手ぬぐいの模様に多い、大胆で粋なデザインの一例

ふく

手や顔、体をふくタオルがわり

まく

頭に巻いて汗どめやおしゃれに

かざる

壁にかけて季節の飾りにする

ポイント

- 手ぬぐいは端を縫わないので、乾きやすく衛生的だといわれています。
- 季節や行事に合わせた模様のものもたくさんあります。

やってみよう

1. 手ぬぐいと風呂敷、似ているところとちがうところを1つずつ書こう。

書いて覚えよう

Lesson 17

地域の包む文化

包み方や使い方は、地域によってもちがいます。

ポイント

- 風呂敷の模様や色の好みは、地域や時代によってちがいがあります。
- 沖縄には「ウチナー柄」など、その土地らしい模様の布文化もあります。
- 地域の商店街には、その土地の風呂敷や手ぬぐいを扱うお店が残っていることもあります。



Emma
地域によって、好まれる柄もちがうんだね。



Ken
うん。おじいちゃんの家の風呂敷は、ぼくの家のとは柄がちがったよ。

やってみよう

1. 家族や親せきの家にある風呂敷の柄を聞いてみよう。

書いて覚えよう

Lesson
18-19

風呂敷を使ってみよう・包む文化を伝える

覚えたことを、実際に使い、伝えてみよう。

やってみよう

1. お使い包みで、学校に持っていく荷物を1つ包んでみよう。
2. 家族にすいか包みかバッグ包みを見せて、どちらが便利か聞いてみよう。

ポイント

- 覚えた包み方は、実際に使ってこそ身につきます。
- 包み方を人に教えることも、文化を伝える大切な方法です。

ワンポイント 最初はうまく結べなくても大丈夫。くり返すうちに、きれいな形になっていきます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 20

写真や実物を見てみよう

本物にふれると、理解がぐっと深まります。

ポイント

- 家に風呂敷や手ぬぐいがあれば、広げて素材や模様を観察してみましょう。
- 博物館や資料館では、古い時代の風呂敷が展示されていることもあります。
- 写真や映像で、いろいろな結び方を見比べてみるのもおすすめです。

やってみよう

1. 家や親せきの家にある風呂敷・手ぬぐいを探し、模様を書いてみよう。

2. 見つからなければ、写真や動画で色や柄を1つ調べてみよう。

ワンポイント 古い風呂敷には、その時代の流行の模様が残っていることがあります。

書いて覚えよう

Lesson 21

体験してみよう

実際に手を動かして、包む楽しさを味わおう。

やってみよう

1. 大きめのハンカチや布で、お使い包みに挑戦してみよう。
2. うまく包めたら、家族に見せて感想を聞いてみよう。

3. 余裕があれば、すいか包みかバッグ包みにも挑戦してみよう。

ポイント

- 最初は小さくて軽いものから練習すると、コツをつかみやすくなります。
- うまくいかないときは、布の中心に荷物を置き直してみましょう。

ワンポイント はさみや針を使う作業ではないので、家で気軽に挑戦できます。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 22

由来と意味をおさらい

風呂敷という文化の由来を確認しよう。

ことば	由来・意味
風呂敷	風呂で布を使ったことに由来するといわれる
のし	干しあわびを簡略化した縁起物といわれる
ふくさ	祝儀袋・香典袋を守り、心づかいを表す布

ポイント

- それぞれの道具には、実用的な理由と、相手を思う気持ちの両方がこめられています。

やってみよう

1. 自分がいちばん印象に残った由来を1つ書こう。

書いて覚えよう

Lesson 23

地域によるちがい

同じ布文化でも、地域で少しずつちがいます。

ポイント

- 風呂敷や手ぬぐいの柄・色の好みは、地域によってちがいがあります。
- 沖縄など、その土地ならではの布や模様の文化もあります。
- 「必ずこうする」と決まっているわけではなく、家庭による習慣のちがいもあります。

やってみよう

1. 自分の住む地域で見かける布の模様や色を、思い出して書こう。

書いて覚えよう

Lesson 24

昔と今をくらべよう

時代とともに、使われ方も変わってきました。

昔

日常の荷物運びに

銭湯へ持っていく
衣類や道具を包んで運ぶ

買い物の荷物に
レジ袋のかわりに使う

今

エコやおしゃれとして

エコバッグとして
くり返し使える布として注目

おしゃれなラッピングに
贈り物や小物入れに活用

ポイント

- 役目は変わっても、「一枚の布でものを包む」という考え方は今も続いています。

やってみよう

1. 今の生活で、風呂敷を使えそうな場面を1つ考えて書こう。

書いて覚えよう

Lesson 25

よくある疑問

気になることを、いっしょに確かめよう。

Q&A

1. Q. 風呂敷は洗ってもいいの？→ A. 素材の表示を見て、家庭で洗えるものは洗って使えます。
2. Q. どんな布でも風呂敷になるの？→ A. 正方形に近い丈夫な布であれば、代用して包むことができます。
3. Q. 結び目がほどけやすいときは？→ A. 真結びの向きが同じになっていないか確認してみましょう。

ポイント

- わからないことは、家族や地域のくわしい人に聞いてみるのもよい方法です。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 26

マナーと注意点

気持ちよく使うための注意点を確認しよう。

ポイント

- 贈り物は、風呂敷から出してから渡すのがていねいとされています。
- 重いものを包むときは、結び目がしっかりしているか、大人と確認しましょう。
- 熱いものやぬれたものを包むときは、やけどや布がいたむことに注意しましょう。

ワンポイント 相手や場面に合わせて、色や柄を選ぶ気づかいも、包む文化の一部です。

やってみよう

1. 家で風呂敷を使うとき、気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 27

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

結び方

- ☐ **真結び**
  ほどけにくい基本の結び方
- ☐ **お使い包み**
  箱を包む基本の包み方
- ☐ **すいか包み**
  丸いものを包む方法

道具

- ☐ **風呂敷**
  四角い布で包む道具
- ☐ **手ぬぐい**
  端を縫わない薄い布
- ☐ **ふくさ**
  祝儀袋などを包む小さな布

贈り物

- ☐ **のし**
  祝いごとにつける飾り
- ☐ **水引**
  紙ひもの飾り結び
- ☐ **結び切り**
  一度きりのお祝いの結び方

考え方

- ☐ **エコ**
  くり返し使い、ごみを減らす
- ☐ **心づかい**
  相手を思って包む気持ち
- ☐ **地域差**
  土地によることなるならわし

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、行事の意味も分かりやすくなります。

書いて覚えよう

Lesson 28

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

風呂敷	●	● ア. 紙ひもの飾り結び
手ぬぐい	●	● イ. 祝いごとの飾り
のし	●	● ウ. 端を縫わない薄い布
水引	●	● エ. 祝儀袋を包む布
ふくさ	●	● オ. 四角い布で包む道具

2. 言葉を3つ書こう

1. 贈り物につける飾りは？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 祝儀袋を包む布は？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. ほどけにくい基本の結び方は？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

3. 正しいほうに○をつけよう

1. ほどけにくい結び方 → （ 真結び ／ 片結び ）
2. 祝儀袋を包む布 → （ ふくさ ／ 手ぬぐい ）

書いて覚えよう

 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 29

ふり返りチェック

できるようになったことを確かめよう。

☐	真結びができる	結び方の基本
☐	お使い包みができる	包み方の基本
☐	のし・水引の意味を言える	贈り物の知識
☐	風呂敷のよいところを1つ言える	エコの視点
☐	地域のちがいを1つ知っている	多様性への理解

ポイント

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページにもどってみましょう。
- 全部できなくても大丈夫。少しずつ増やしていけば十分です。

書いて覚えよう

一般社団法人文化芸術支援協会｜風呂敷と包む文化　個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

Lesson 30

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、自分の言葉で伝えてみよう。

話す相手	
紹介する包み方	
伝えたいこと	
相手の反応	

Ken の例

話す相手 妹／紹介する包み方 すいか包み／伝えたいこと 丸いものも風呂敷で包めること／相手の反応 びっくりして、自分もやってみたいと言った

ポイント

- 説明しながらやってみせると、相手にも伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

Lesson 31

英語で紹介してみよう

風呂敷を、英語でも紹介してみよう。

風呂敷
furoshiki／a wrapping cloth
四角い布で包む、日本の伝統的な道具

結ぶ
tie
布の端を結んで、形を作ること

再利用できる
reusable
くり返し使えること

エコな
eco-friendly
環境にやさしいこと



Emma
Furoshiki is like a reusable gift wrap, right?
風呂敷って、くり返し使える包み紙みたいだよね？



Ken
Exactly! You just fold and tie it.
そうだよ！たたんで結ぶだけなんだ。

やってみよう

1. 風呂敷を1文で英語で説明してみよう。

書いて覚えよう

Lesson 32

もっと知りたい人へ

風呂敷の世界は、まだまだ広がっています。

もっと知りたい人へ

博物館で
古い時代の風呂敷を見る

お店で
いろいろな柄の風呂敷を見る

本で
包み方の種類を調べる

次のステップ

着物
布と身につける文化を知る

和の色
布に使われる色を知る

行事
贈り物を使う年中行事を知る

ポイント

- この教材の次は「折り紙」。同じ布や紙を折り、包む知恵にふれていきます。

書いて覚えよう

Lesson 33

学んだことをまとめよう

この教材で学んだことを、自分の言葉でまとめよう。

まとめ　自分の言葉で書こう

1. 風呂敷とは、どんな道具ですか。＿＿＿＿＿＿＿＿
2. いちばん覚えておきたい包み方は？＿＿＿＿＿＿＿＿
3. これから使ってみたい場面は？＿＿＿＿＿＿＿＿

風呂敷ミッションカード

MISSION 1
家にある布でお使い包みをする

MISSION 2
家族に真結びを教える

MISSION 3
のしや水引を実物で探す

MISSION 4
布を使って買い物に行く

できたミッションに✓をつけよう：　☐1　☐2　☐3　☐4

書いて覚えよう

Lesson 34

風呂敷と包む文化チャレンジ

毎日の中でも、包む文化はすぐに楽しめます。

包もう

身近な布で**お使い包み**をしてみる

結ぼう

真結びを1回で決める

伝えよう

包み方を**家族**に見せる

こたえ

L5 （例）2本の端を交差させ、上下を入れかえてもう一度結ぶ。

L28 風呂敷→オ 手ぬぐい→ウ のし→イ 水引→ア ふくさ→エ　2. のし ／ ふくさ ／ 真結び　3. 真結び ／ ふくさ

L33 （例）風呂敷は、一枚の布を結び方でかえて、いろいろな形のものを包める道具。

書いて覚えよう

風呂敷と包む文化（Season 7 ｜ No.66）
発行：一般社団法人文化芸術支援協会
この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。
有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。
くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。